

消費税8%から10%にして
も賄えない。どんな社会が
待っているのか、考えてみ
れば明らかではないでしょ
うか。

誰のための改憲か

誰の為の改憲でしょうか。
海外直接投資残高は、19
98年は30兆円、2016
年は152兆円と5倍です。
大企業の内部留保が増える
一方、賃金には反映されず、
その行き先は、国外投資で
した。

それを守る為に軍事力が
いるのでは。アメリカ合衆
国の軍の基本的任務は、自
由主義経済秩序の維持と明

示されています。つまり、
多国籍超マンモス企業の海
外投資、取引資産、経済秩
序を守ることとなります。

主権者の力

最高裁長官をつとめたこ
のある故横田喜三郎さん
がある新聞に掲載した言葉
があります。「裁判の判決
は、法理論を積み重ねて考
えた末に導き出されている
結論だと、大抵の人はそう
思っています。が実はそうで
はありません。国民的常識
がどちらなのかということ
によって決めます。理屈は
後付です。」

国民的常識がどこにある
のか。真実がはつきりして
くれば、イデオロギーを超
えた力になる。裁判でい
えばそうだったときには裁
判は勝つのです。

政治の場合もそうではな
いかと思います。ひろく真
実が知られて国民の常識と
なれば勝てる。
院外運動、国会を取り巻
く運動は日本の戦後史では
数えるくらいです。
2015年の安保法制反
対の運動は横と横の連帯、
インターネット型の国民主
権的な活動になりました。
あなた頼みではなく、一
人ひとりが着々と力を蓄え
ていく。

それでも国民運動で派兵
を止めてきた歴史を持つて
います。
そういう力は何か。やは
り主権者の力です。主権者
の力というのは、憲法に書
かれているから力がある
ということではありません。
「水はよく舟を載せ、ま
た舟を覆す」これは、中
の唐の時代の皇帝の言葉で
す。つまり、どの時代も主
権者は、国民大衆です。人
民(水)は、王様(舟)を
うかべているが、転覆させ
ることもできるということ。
人々の結束によって、そ
こにしっかりと焦点をあて
てこそ、国民一人一人が自
らを守ることができると思
います。

わからないこと
があるときは、い
ろいろ調べるこ
とです。自分の意見
に似たものを見つ
けて安心してしま
たり、答えをただ
信じるという癖は
のりこえないとい
けませんね。
真実に行き着く
ためには、いろん
な角度から、あく
なき真実の追求、
不思議に思うこと

第9回代表世話人会 (9/19) 報告

情勢懇談から

(1) 安倍政権との闘い
安倍(1強)への批判が自民党総選挙でも明らか。モリ・カケ・日報問題で安倍首相による権力の私物化、誰も責任を取らない事実には有権者の70%が批判をもっている。アベノミクスで巨大企業の利益はふえたが多くの人の暮らしは厳しい。総裁選で安倍は改憲発議を狙ってくる可能性も。国民投票の問題点も議論。

(2) 新しい運動の展開
住民運動によって敗訴した産廃業者が身売りして春日井市で新しい事業を計画、これに反対し運動を起こす。IR法でカジノ事業に愛知県も参加をうかがっている。司法書士会などで反対の動き。大府市で戦時中の中国人強制労働に企業は、「道義的責任」を認め始めた。核兵器禁止条約の国連採択にいたる世界史的、人類史的流れをきちんとつかむことの重要性も指摘された。

(3) 参院選、知事選、統一地方選に向けて
違いはあっても安倍政権打倒で協力することが大切だ。野党は共同して法案を提出している(原発ゼロ法案、生活保護費の引き上げ法案など)。

(4) 翁長知事の遺志を受け継いで
沖縄では、辺野古新基地建設に70%が反対。争点隠して期日前投票の駆り出しが進められている。革新・愛知の会でカンパ(28万円その後、29000円)、東部革新懇も一人で10万円のカンパも。支援ツアーに12名が参加、現地に届ける。連帯集会在中川・守山・南・緑などで開催。

当面の取り組み
(1) 講演と文化の夕べ——チケット普及・講演と文化の夕べの内容確定に。情勢とのかかわりでこの夕べの意義を共有 (2) 沖縄知事選支援——9月21日~23日、12名で支援活動に参加。代表世話人会終了後、金山駅北口で代表世話人で沖縄支援の街頭宣伝を行う。
(3) 3000万署名をもう一回り、二回りひろげる——現時点で全国で1800万筆、愛知県内で68万筆達成。300万筆を達成しよう。

次回代表世話人会 10月18日(木)14時~

東西南北

沖縄県知事選挙

中川連帯集會



9/15 中川連帯集會

9月15日、戦争法(安保法)の廃止を求める中川区実行委員会と中川革新懇のよびかけで、盛福寺にて玉城デニー候補を支援する集會を35人の参加で行う。最初に7万人が雨天の中で集まった8・11沖縄県民大会のDVDを上映。主催者から今回の知事選の意義、沖縄へ選挙支援の方から現地報告、赤嶺政賢衆議院議員からのメッセージも届きました。

最後に「まわりの人と沖縄について語ろう、応援電話をかけよう」などの行動提起を行う。集会后、高畑交差点に12名が集まり、リレートークを行い、オーリ沖縄玉城デニー候補の支援を市民によびかけた。
(事務室長・小玉新吉)

第14回総会開催

天白区革新懇

天白区革新懇は9月15日35人の参加で総会を開催しました。今総会では安倍政権がアベノミクス政策の下で日本経済が順調であること、次期国会に憲法改定を提案することを主に自民党総裁選挙が行われている中での開催であり、岩月浩二弁護士を講師に「アベノミクスとTPP、暮らしを壊すグローバル企業」と題して記念講演を聴きました。講演ではアベノミクスの3本の矢の柱についてデータをもち、国民生活にどう影響しているかについて学ぶことが

ことができました。二部の総会では戦争法が強行採決されてから革新懇も共同して闘ってきた「やめて戦争法!天白の会」を発展させて「安倍改憲NO!憲法を生かす天白の会」の立ち上げに他団体・個人と共に頑張ってきたこと、そして参議院選挙では「市民が主人公の政治をつくる@3区」の結成にも共同してきたことなどの報告がされました。市民と野党の共同によって「@3区」が結成された後も分断の逆行を乗り越え、選挙で近藤昭一衆議院議員の勝利に貢献したことなどの報告がありました。
自民党総裁にだれが選ばれよう来年闘われる県知事選挙、県・市議会選挙、そして参議院選挙では市民と野党の共同で自公革新の議席を3分の2議席以下にするたたかいに全力で取り組もうと提案され拍手で確認されました。
(事務室長・杉原保教)



9/23 岡崎 憲法学習会

くらしと平和を守る

革新・岡崎の会

安倍自公政権は、憲法9条改憲に意欲を示すなか、9月27日(日)に西三河弁護士会館において、自由法曹団愛知支部事務局長の加藤悠史弁護士を講師に憲法学習会を開催しました。
安倍自民改憲案における自衛隊明記の9条加憲の狙いを加藤弁護士は、「安保法制の下での自衛隊を憲法で肯定することは、実質的に自衛隊の海外派兵を拡大」とともに、2020年までに改憲施行と期限を示す安倍首相は、「先の通常国会

で改憲発議に意欲を示したが、行政権限を私物化する安倍政治の構造的腐敗が現象化」、「3000万署名の推進」により改憲発議阻止された。さらに、「安倍首相は、次の臨時国会に改憲発議に意欲を示す」。これを阻止するために「立憲主義を一致点とした市民と野党の共同を軸に、政治的無関心層に3000万署名を引き続き推進」、「発議阻止のため、この一年がんばれば国会勢力の変化がおきる」と3000万署名推進の重要性を訴えました。私たちは、引き続き安倍9条改憲発議ストップのため3000万署名を推進することを確認。
3000万署名宣伝
南区革新の会
10月3日、南区革新の会は3000万署名宣伝行動を南区内田橋のスーパーで行いました。
安倍新内閣は憲法9条改悪の布陣であること。10



10/3 南区 署名行動の様子